



東日本大震災の 避難所から見えてきた課題

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

災害看護コース准教授

石井 美恵子

概要

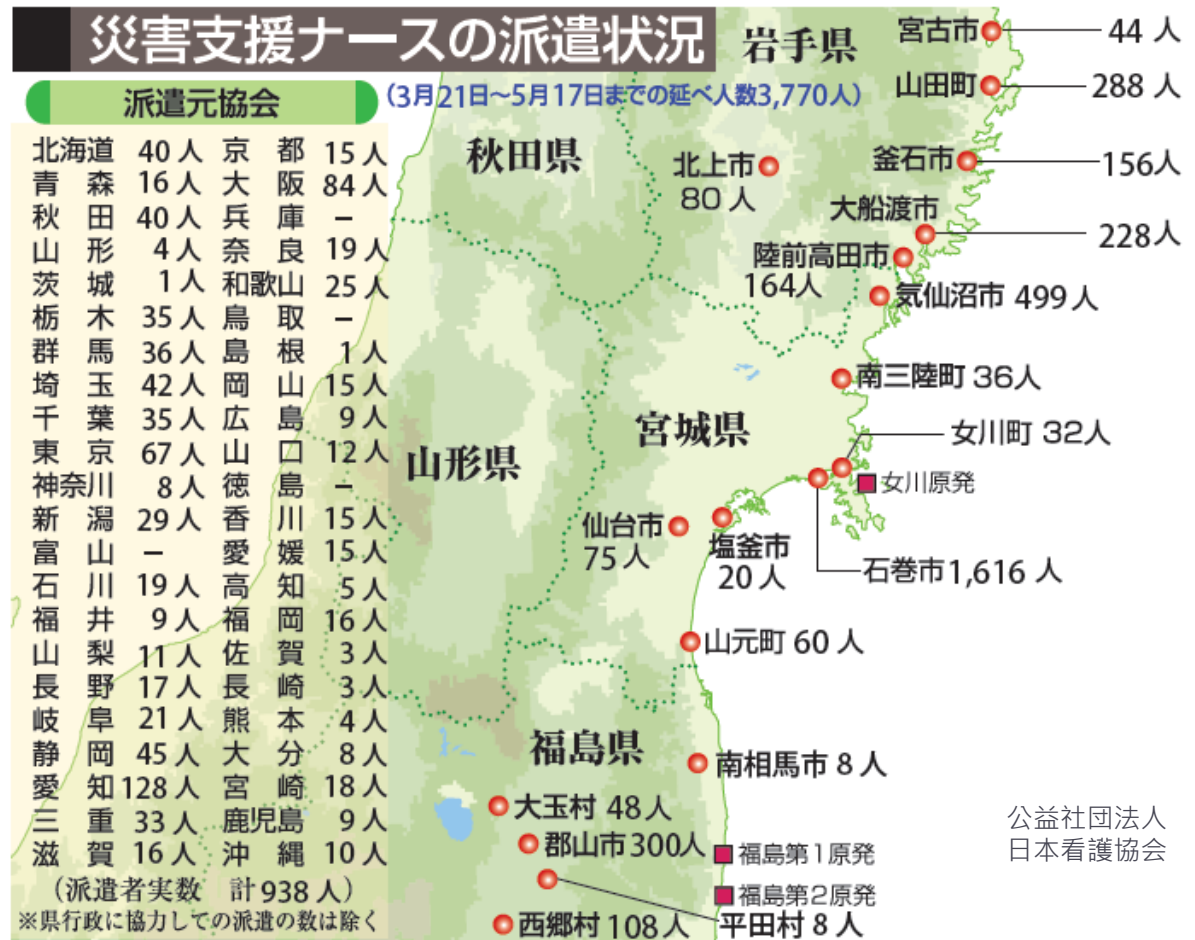
石巻市沿岸部17避難所での支援活動の経験

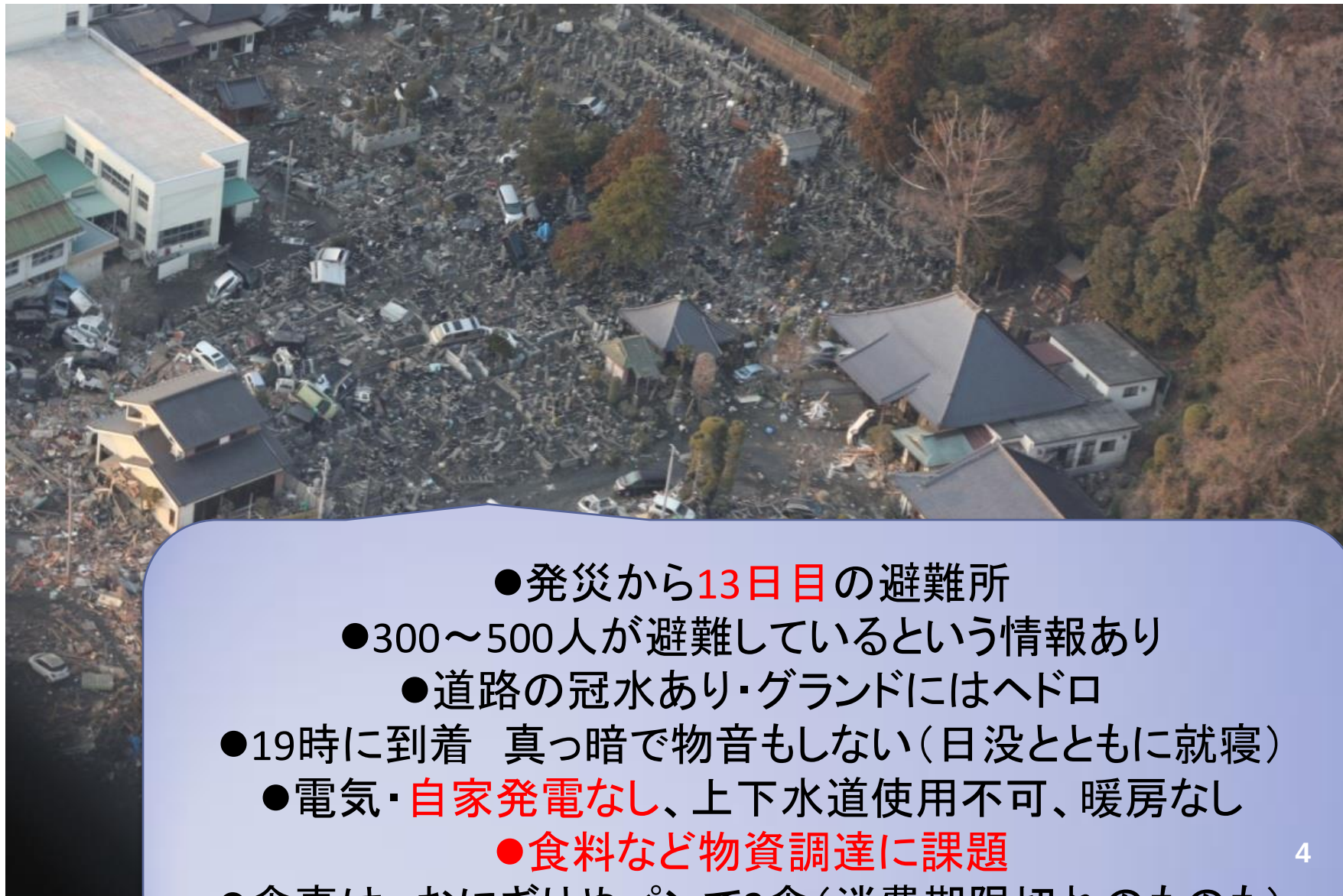
- 二次災害防止に関する課題
- 避難所の後進性
- 超高齢社会での震災対応

日本看護協会・都道府県看護協会災害時支援ネットワーク 災害支援ナース派遣

- **交通手段の確保(被災県での深刻なガソリン不足)**
- 観光バスのチャーター(緊急車両登録)、偶発的な組織活動
- 3月22日第1班派遣、宮城県看護協会に現地対策本部を設置
現地対策本部に現地コーディネーターを配置

- 派遣および活動人数
- 1回の派遣人数:
20~30人/日
- 現地活動人数:
60~120人/日





- 発災から**13日目**の避難所
- 300～500人が避難しているという情報あり
- 道路の冠水あり・グランドにはヘドロ
- 19時に到着 真っ暗で物音もしない(日没とともに就寝)
 - 電気・**自家発電なし**、上下水道使用不可、暖房なし
 - 食料など物資調達に課題**
- 食事は、おにぎりやパンで2食(消費期限切れのものも)